

# 2005年度中間決算説明会

平成17年12月14日

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ

(8377)

# 目次

## 【2005年度中間決算概要】

- ・中間決算概要 < P/L: 連結・2行合算 > 2
- ・中間決算概要 < P/L: 各行別 > 3
- ・中間決算概要 < B/S: 各行別 > 4
- ・経営健全化計画と実績 5
- ・2005年度業績予想 6

## 【トップラインの増強に向けて】

- ・個人ローンの増強 < 総体 > 8
- ・個人ローンの増強 < 住宅ローン > 9
- ・個人ローンの増強 < カードローン > 10
- ・フィー・ビジネスの増強 < 役務取引利益 > 11
- ・フィー・ビジネスの増強 < 投資型金融商品 > 12
- ・フィー・ビジネスの増強 < 私募債等 > 13
- ・ローコストオペレーションの追求 14

## 【強靱な財務内容の構築に向けて】

- ・金融再生法開示債権の推移 16
- ・信用コストと業務純益 17
- ・自己資本比率の推移 18
- ・繰延税金資産の推移 19

## 【経営戦略】

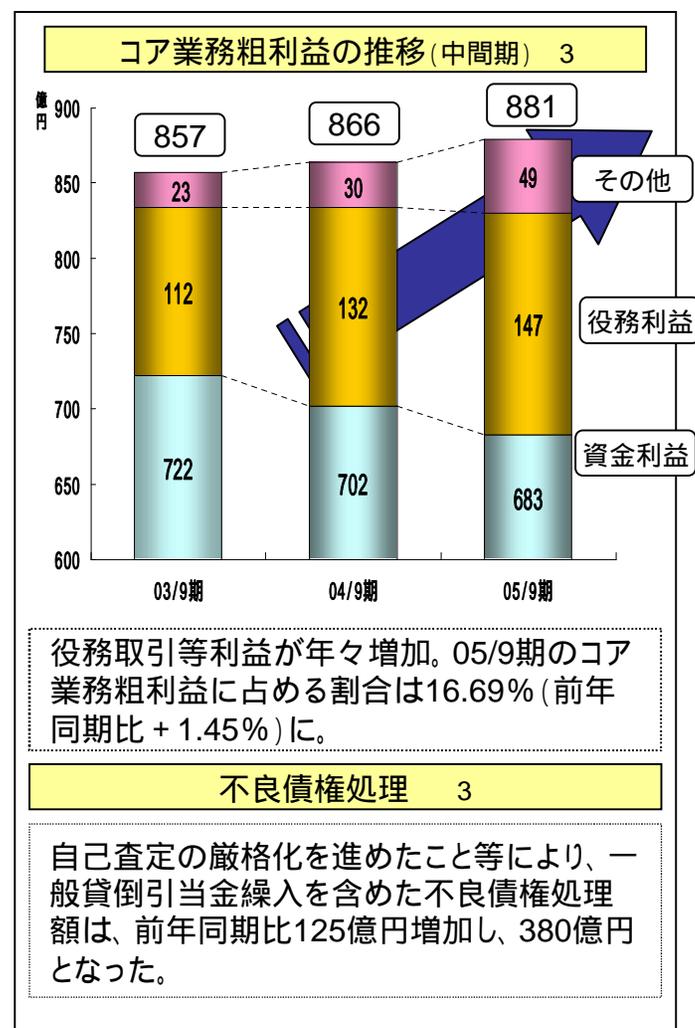
- ・リテール強化戦略 21
- ・ほくほくFGのシナジー効果 < 店舗統廃合 > 22
- ・ほくほくFGのシナジー効果 < 営業協力 > 23
- ・ほくほくFGのシナジー効果 < システム共同利用 > 24
- ・ほくほくFGのシナジー効果 < システム共同利用 > 25

# 2005年度中間決算概要

# 中間決算概要 < P/L : 連結・2行合算 >

- **トップライン拡大** コア業務粗利益は881億円と前年同期比14億円増(2行合算)  
北陸・北海道銀行とも、半期でのコア業務純益は過去最高益を更新
- 信用コストが増加したため、経常利益は前年同期を下回り、中間純利益は前年同期比微減となった(2行合算)

(億円)	FG連結 (05/9期)	2行合算 + 分割子会社		
		(05/9期)	(04/9期)	増減
<b>連結コア粗利益/コア業務粗利益</b>	<b>910</b>	<b>881</b>	<b>866</b>	<b>14</b>
資金利益	681	683	702	19
役員取引等利益	160	147	132	14
特定取引利益	6	6	12	5
その他業務利益 <sup>1</sup>	61	43	18	24
経費(臨時処理分を除く) ( )	459	447	449	2
<b>コア業務純益</b>	<b>450</b>	<b>433</b>	<b>416</b>	<b>17</b>
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	462	446	418	28
不良債権処理額 <sup>2</sup> ( )	393	380	254	125
株式等損益	51	57	12	45
<b>経常利益</b>	<b>109</b>	<b>125</b>	<b>184</b>	<b>58</b>
特別損益	18	16	9	6
法人税等(法人税等調整額含)( )	31	36	98	62
<b>中間純利益</b>	<b>58</b>	<b>73</b>	<b>75</b>	<b>2</b>



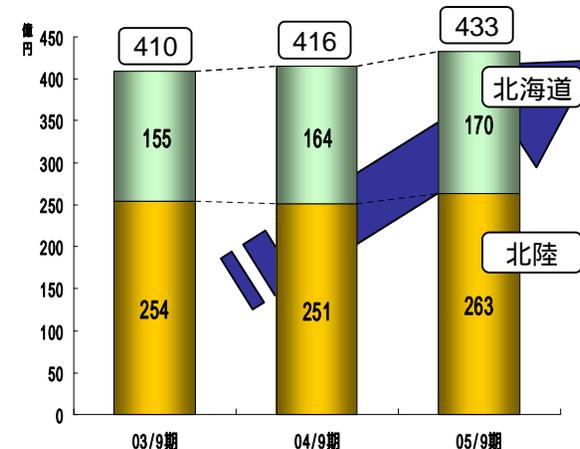
1 その他業務利益: 国債等債券損益等を除く。 2 不良債権処理額には一般貸倒引当金繰入含む  
3 2行合算 + 分割子会社(北銀コーポレート)

# 中間決算概要 < P/L : 各行別 >

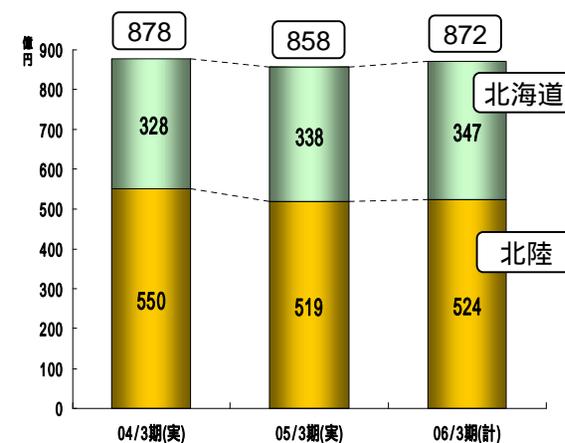
(億円)	北陸銀行 + 分割子会社			北海道銀行		
	(05/9期)	04/9期	増減	(05/9期)	04/9期	増減
<b>コア業務粗利益</b>	519	511	8	361	354	6
資金利益	391	409	18	292	293	0
役務取引等利益	88	77	10	59	55	4
特定取引利益	6	12	5	-	-	-
その他業務利益	34	11	22	8	6	2
<b>経費</b> (臨時処理分を除く)( )	256	259	3	190	190	0
<b>コア業務純益</b>	263	251	11	170	164	5
<b>業務純益</b> (一般貸倒引当金繰入前)	265	254	11	181	164	16
不良債権処理額( )	253	169	84	127	85	41
株式等損益	47	8	39	10	4	6
<b>経常利益</b>	59	101	41	66	82	16
特別損益	8	9	1	7	0	8
法人税等 (法人税等調整額含)( )	11	60	49	24	37	12
<b>中間純利益</b>	39	30	9	33	45	12

両行とも過去最高益

コア業務純益の推移(2行合算:中間期)



コア業務純益の推移(2行合算:通期)



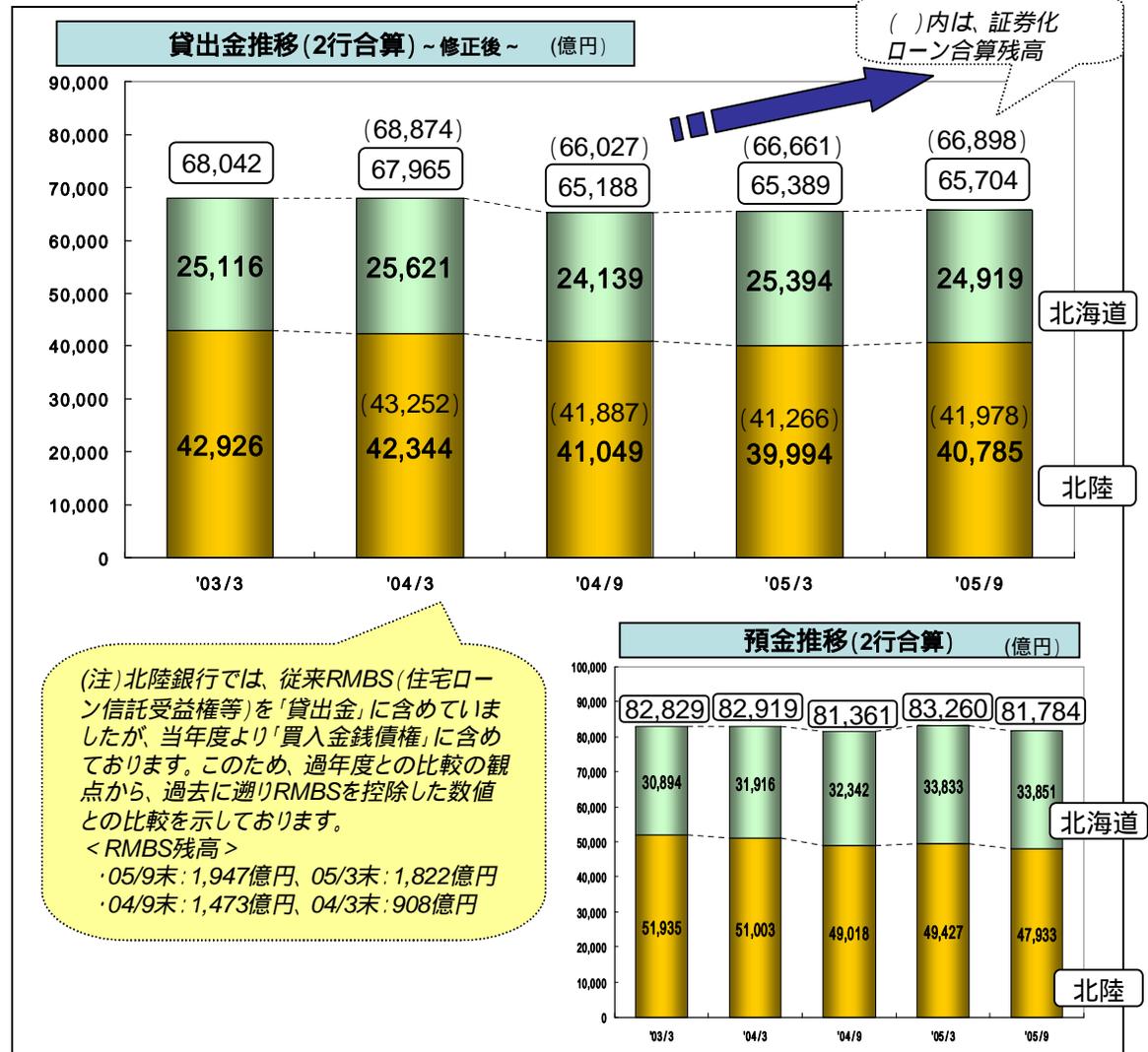
経営健全化計画

# 中間決算概要 < B/S : 各行別 >

- 貸出金(2行合算 + 分割子会社) …… 前期末比 + 315億円(前年同期比 + 515億円) 修正後ベース
- 預金(2行合算) …… 前期末比 1,475億円(前年同期比 + 423億円)

(億円)	北陸銀行 (05/9期)	北海道銀行 (05/9期)
<b>資産の部</b>	<b>55,662</b>	<b>37,632</b>
現金預け金	1,489	2,869
買入金銭債権	2,152	0
貸出金	40,785	24,919
有価証券	8,534	8,818
繰延税金資産	779	435
<b>負債の部</b>	<b>53,682</b>	<b>36,295</b>
預金	47,901	33,851
譲渡性預金	688	329
<b>資本の部</b>	<b>1,980</b>	<b>1,336</b>
資本金	1,404	935
資本剰余金	149	167
利益剰余金	249	135
その他評価差額金	176	98

北陸銀行のB/Sは、分割子会社との連結ベース



# 経営健全化計画と実績

(2行合算) 北陸銀行には分割子会社分含む	実績		計画	
	04/9期	05/9期	06/3期	08/3期
業務粗利益	868	893	1,767	1,879
経費	449	447	887	873
OHR < 経費 / 業務粗利益 >	51.80%	50.18%	50.19%	46.48%
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	418	446	880	1,005
コア業務純益	416	433	872	989
不良債権処理額	254	380	390	310
経常利益	184	125	476	673
当期純利益	75	73	259	421
剰余金残高(FG + 2行) 1	403	484	647	1,299
自己資本比率(FG連結)	8.00%	8.78%	8.12%	9.18%
Tier1比率	6.01%	6.19%	6.34%	7.57%

1 利益剰余金のうち、利益準備金以外

**2008/3期計画**  
不良債権比率: 5%台以下

**2008/3期計画**  
繰延税金資産Tier1対比:  
20%以下

# 2005年度業績予想

(億円)

	ほくほくFG連結 (2005年度予想)		2行合算 (2005年度予想)			
		前期比		うち北陸	うち北海道	前期比
経常収益	2,320	288	2,120	1,270	850	34
コア業務純益	-	-	870	520	350	13
経常利益	425	152	455	265	190	114
当期純利益	240	127	260	155	105	108

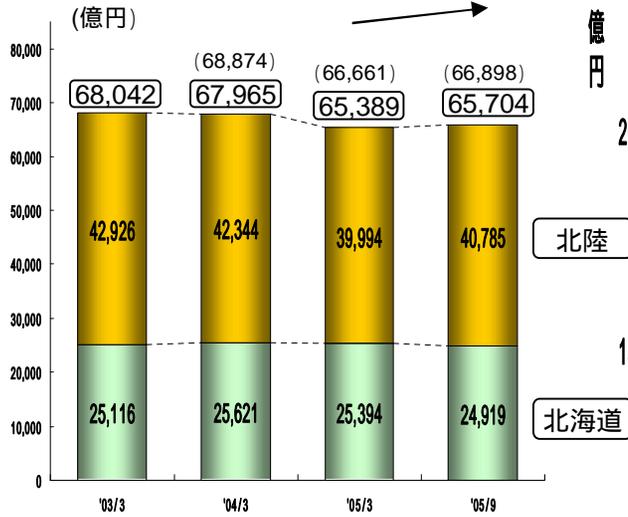
「うち北陸」には、分割子会社(株)北銀コーポレートを含む

- ▶ 2005年度は、ほくほくFG設立後、初めて通期ベースでの結果が示される第2フェーズに突入「飛躍の年」
- ▶ コア業務純益 : 過去最高水準の870億円に挑戦 < 過去最高は878億円 >
- ▶ 当期純利益 : 2行合算ベースで経営健全化計画策定後の過去最高水準260億円を見込む
- ▶ 普通株式配当 : 年1.5円配当の計画

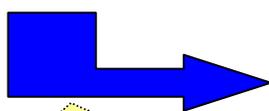
トップラインの増強に向けて

# 個人ローンの増強

貸出金推移(2行合算) ~修正後~



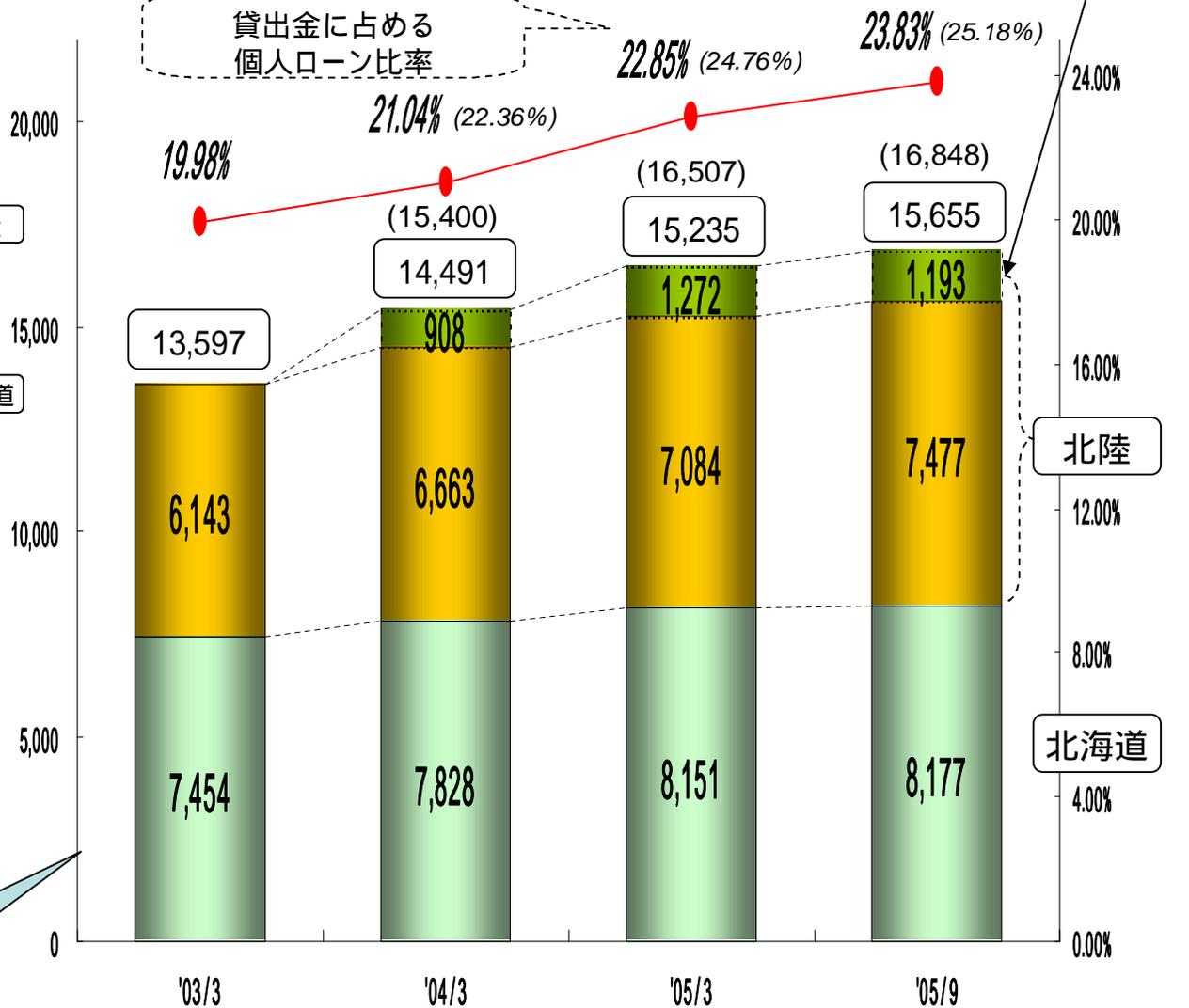
北陸銀行には分割子会社分を含む



(注)北陸銀行では、従来RMBS(住宅ローン信託受益権等)を「貸出金」に含めていましたが、当年度より「買入金銭債権」に含めております。このため、過年度との比較の観点から、過去に遡りRMBSを控除した数値との比較を示しております。

2003/3月末より  
+ 3,251億円増加

個人ローン残高推移 (2行合算)

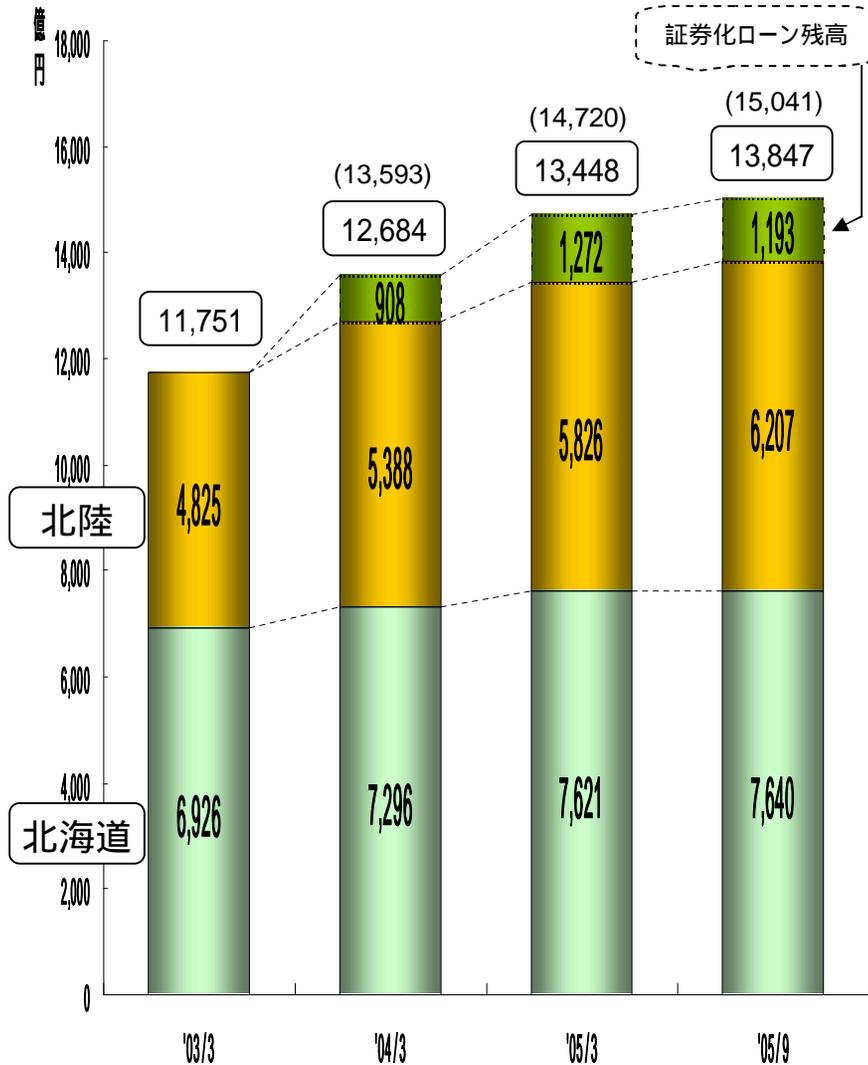


( )は、証券化ローン合算の残高および証券化ローン合算の貸出金に占める比率。

証券化ローン合算の個人ローン比率算出時には、分母・分子に証券化ローン残高を含めている。

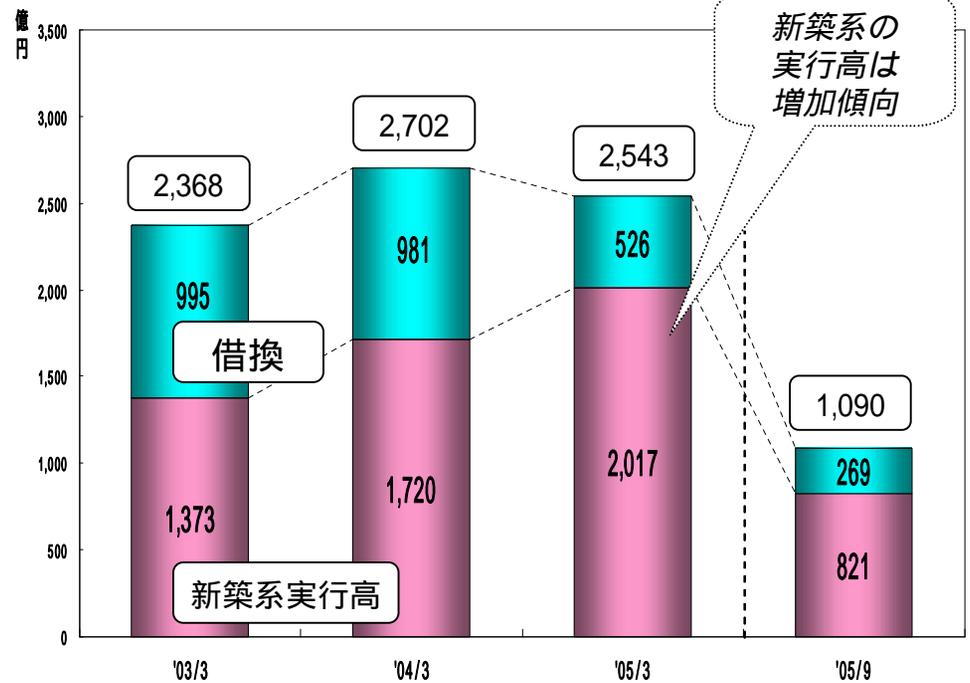
# 個人ローンの増強

住宅ローン残高推移 (2行合算)



( )は、証券化ローン合算の残高.

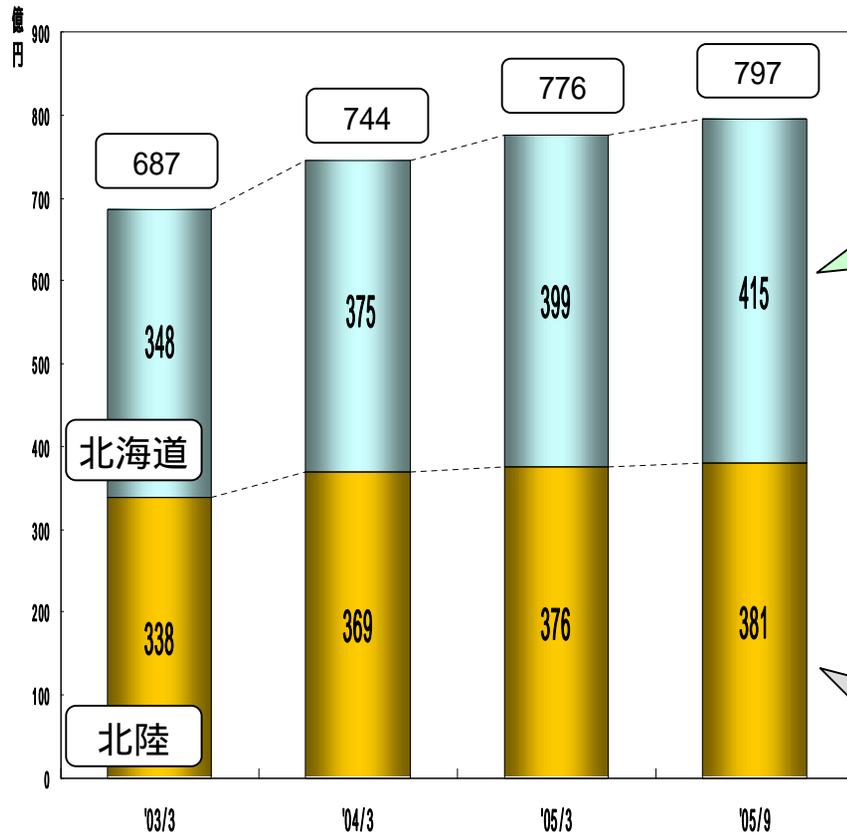
住宅ローン実行高推移 (2行合算)



(億円)		'03/3	'04/3	'05/3	'05/9
北陸	新築系	767	1,073	1,222	539
	借換	555	575	281	163
北海道	新築系	605	646	794	281
	借換	440	405	244	105

# 個人ローンの増強

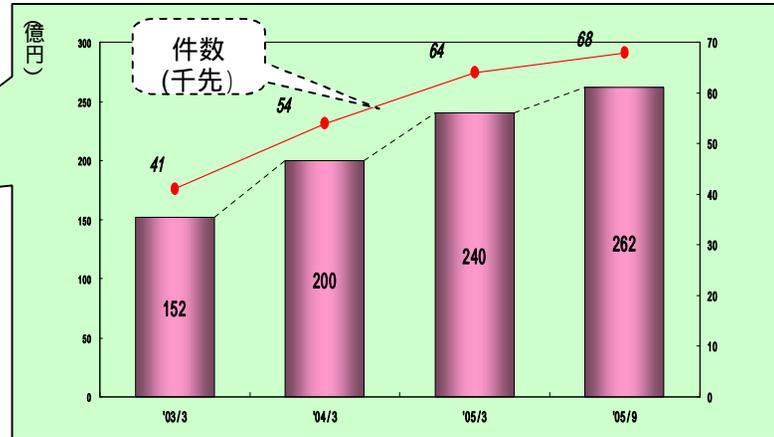
カードローン残高推移 (2行合算)



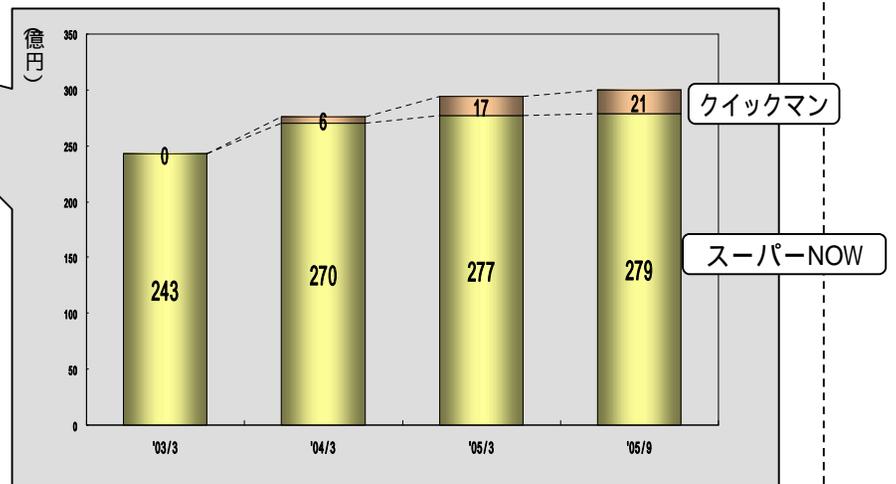
- ◆北陸銀行のカードローン口座数は、594千先 ('05/9末)となった。
- ◆北海道銀行ラピッド支店  
来店不要、電話・FAX・インターネット・郵送により24時間365日受付

各行の主なカードローン商品の残高推移

北海道銀行:「ラピッド」の残高・件数推移

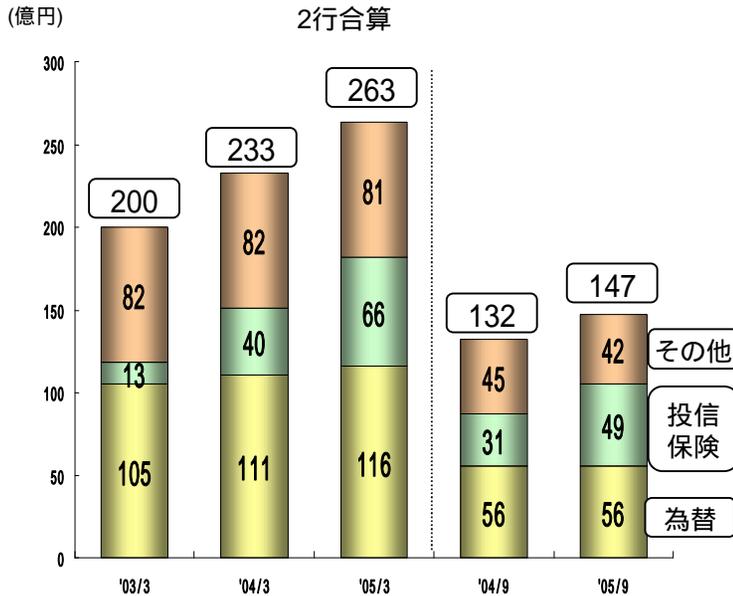


北陸銀行:「スーパーNOW」・「クイックマン」残高推移



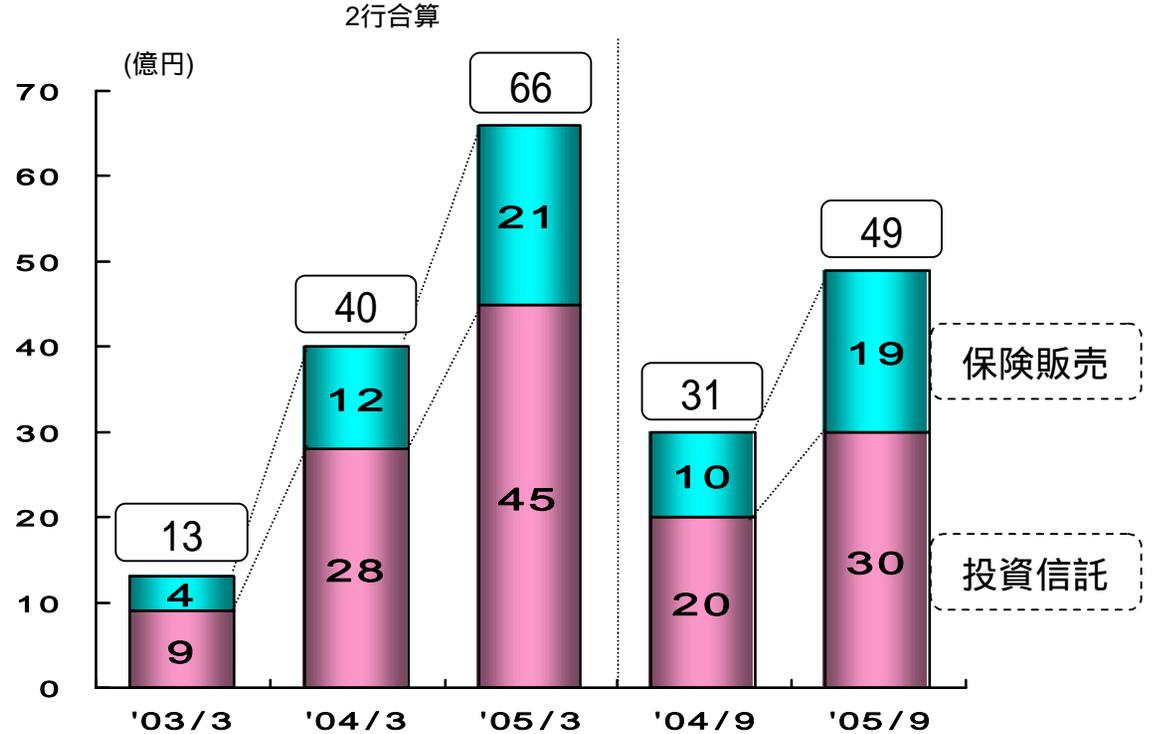
# フィー・ビジネスの増強

役務取引等利益の推移(総体)



為替手数料収入  
も堅調に伸びている

投資信託・保険販売手数料収入の推移



役務取引等利益総体に占める  
投資信託・保険販売手数料  
収入の比率が、03/3期6.5%  
から05/9期33.3%にまで増加

		03/3	04/3	05/3	04/9	05/9
北陸	投信	3	20	32	14	20
	保険	3	8	15	8	14
	小計	7	28	47	22	35
北海道	投信	5	8	12	5	9
	保険	1	3	6	2	4
	小計	6	11	18	8	13

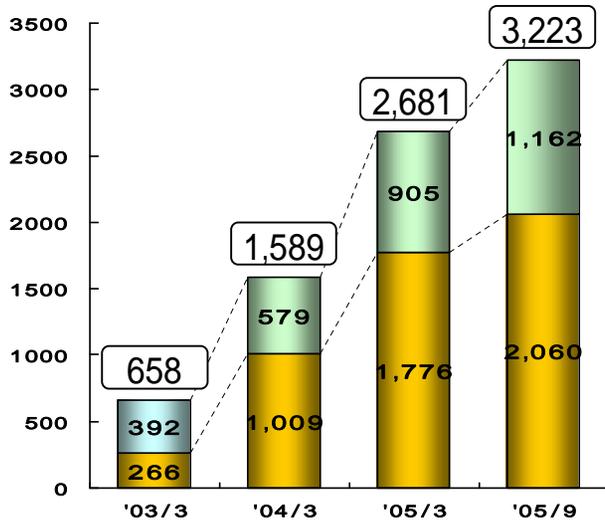
# フィー・ビジネスの増強

投資型金融商品の状況(個人) ~2行合算~

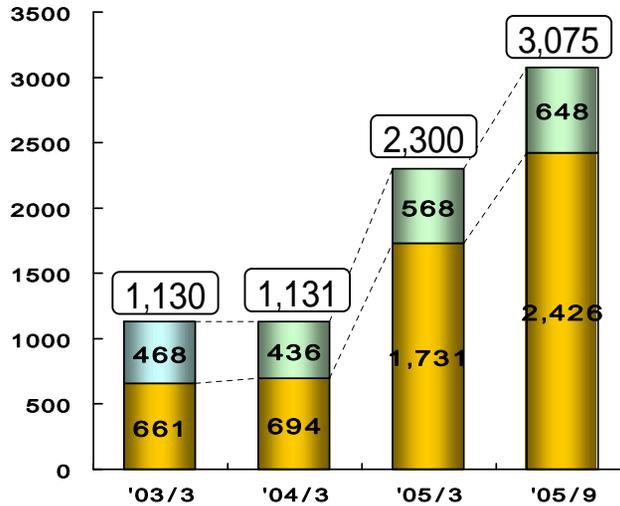
全グラス、上段:北海道銀行、下段:北陸銀行

(単位:億円)

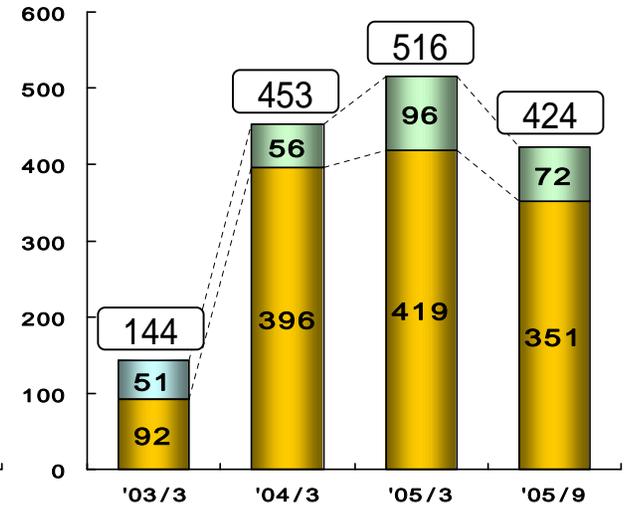
投資信託残高推移



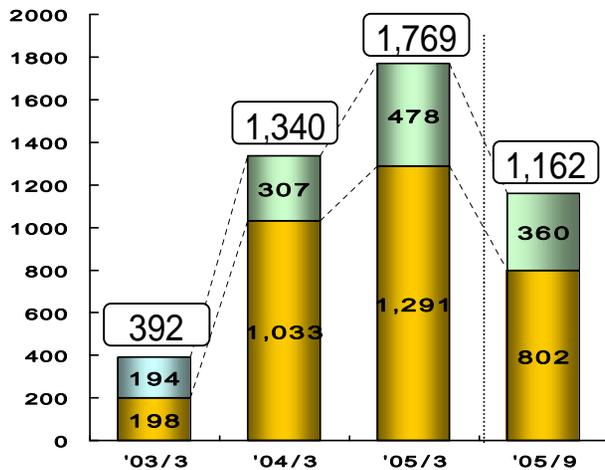
公共債残高推移



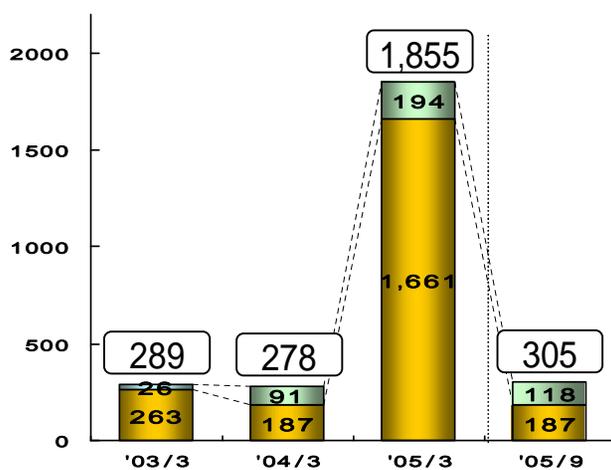
外貨預金残高推移



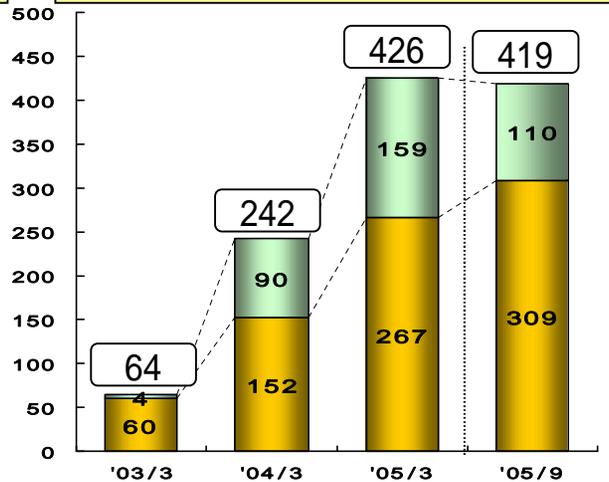
投資信託販売額推移



公共債販売額推移



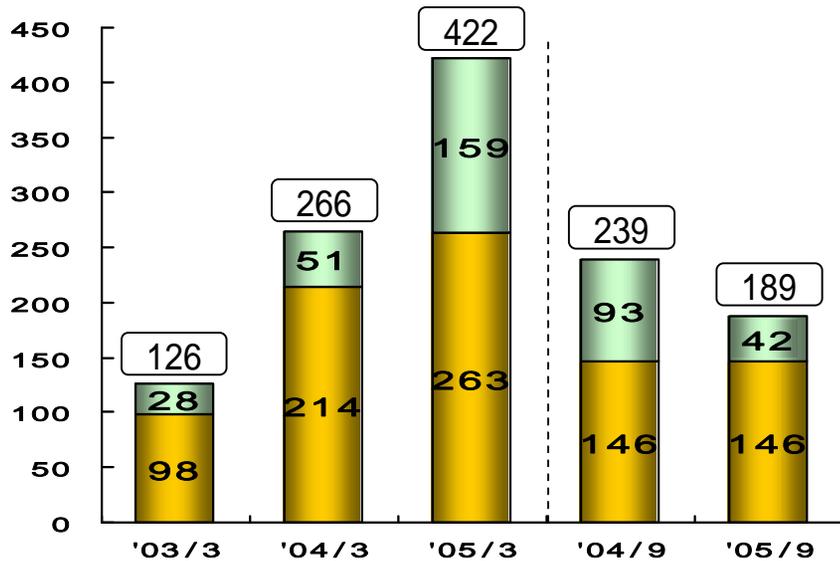
個人年金保険販売額推移



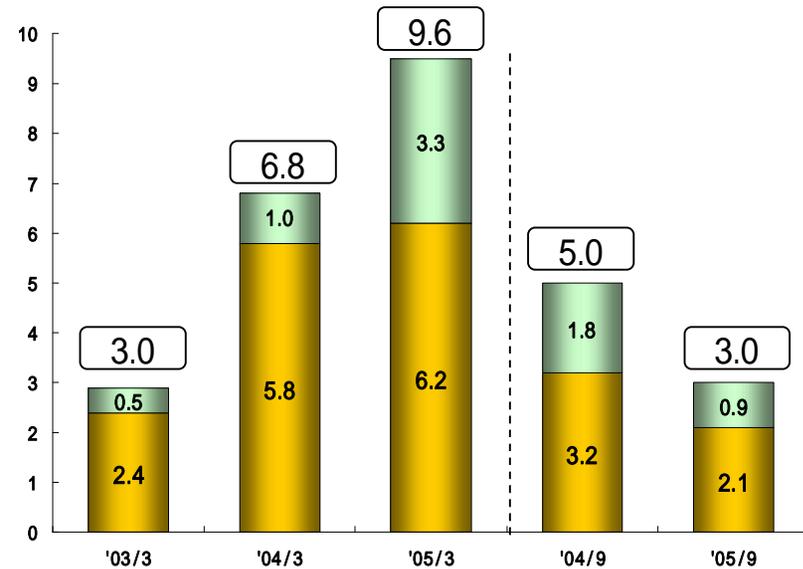
# フィー・ビジネスの増強

(単位: 億円)

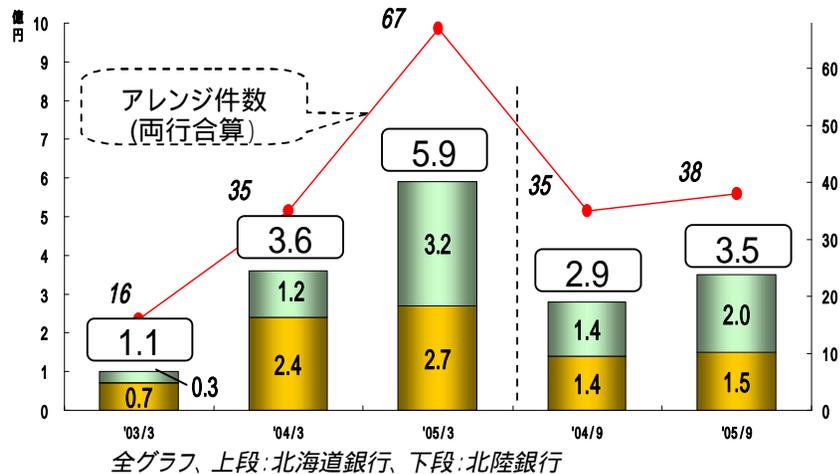
## 私募債発行額推移



## 私募債手数料収入推移



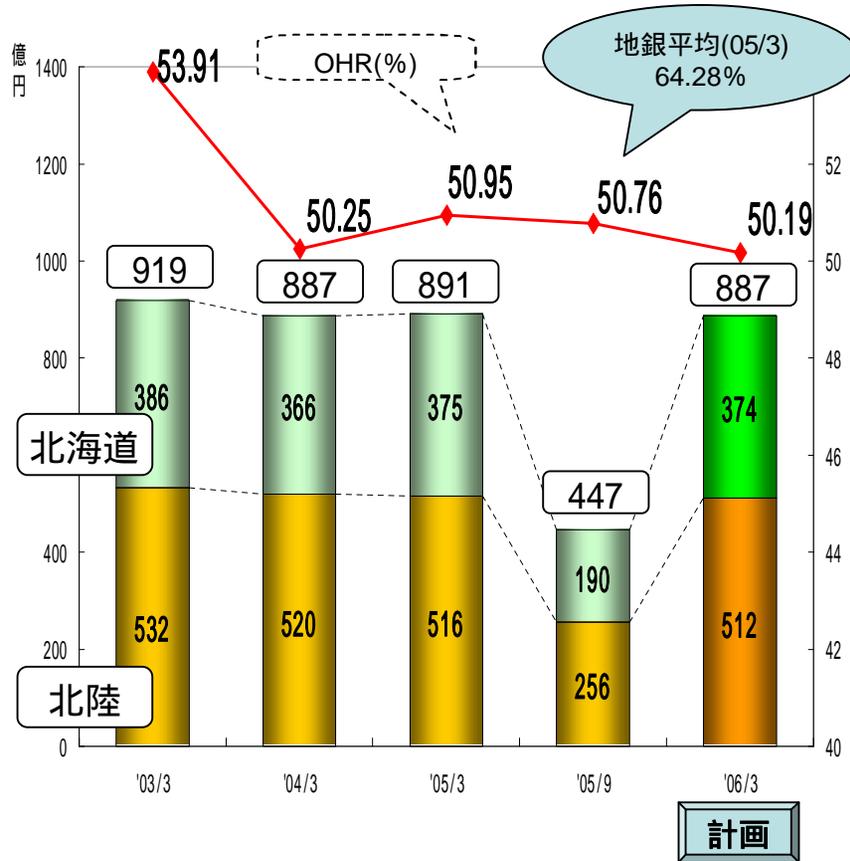
## シンジケートローン(アレンジャーフィー)の実績



新たなフィー・ビジネスの柱として  
私募債、シンジケートローンの取組  
を強化

# ローコストオペレーションの追求

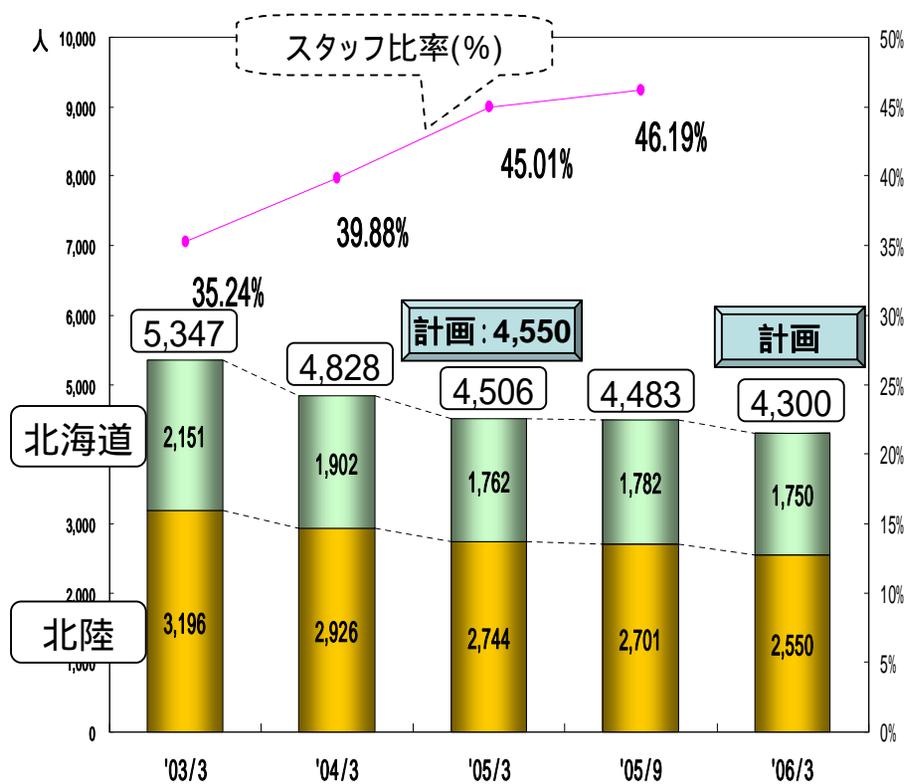
経費・OHRの推移



●地銀平均を13ポイント以上下回る水準

OHR = (経費/コア業務粗利益) × 100 (計画の分母は「業務粗利益」)

人員構成・スタッフ比率の推移



経営健全化計画を着実にクリア  
06/3期計画: 4,300人体制実現に向けて  
効率化推進中

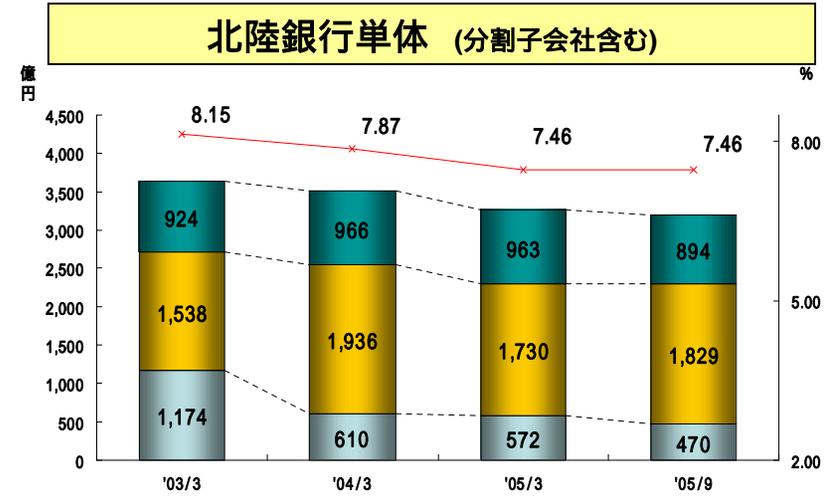
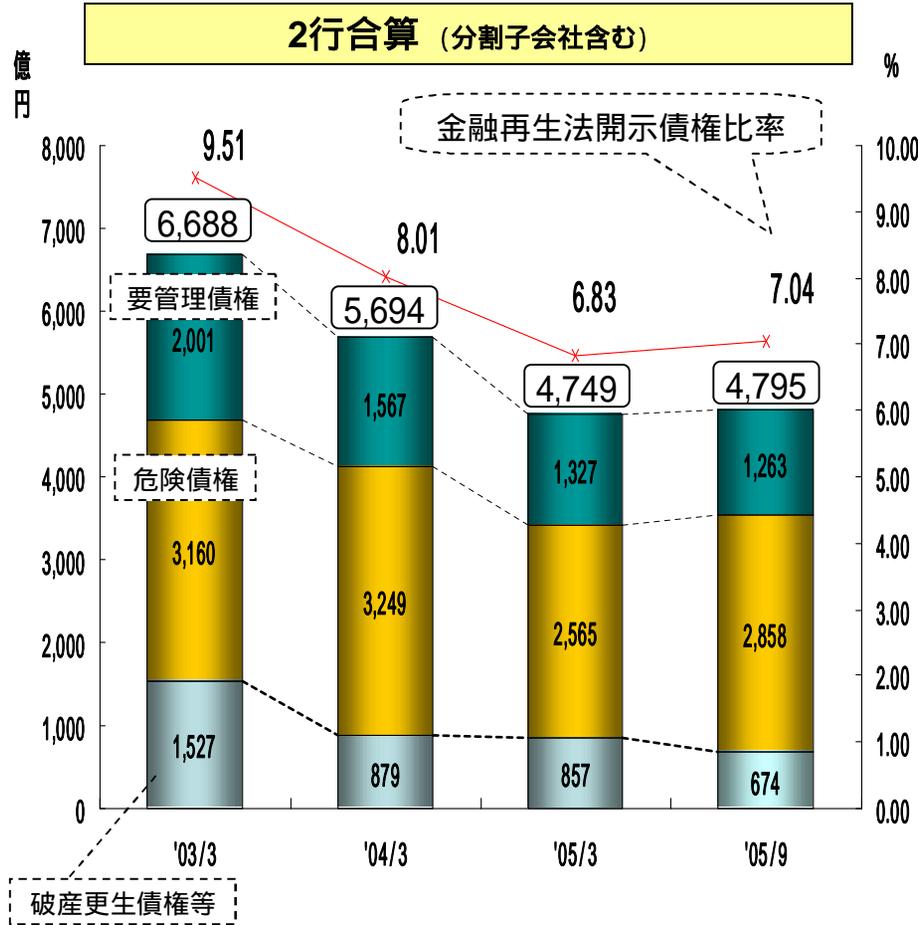
<参考> 05/9末スタッフ数: (陸)2,551、(道)1,297、計3,848

スタッフ比率 = (嘱託行員 + 契約社員 + 臨時雇 + 派遣・直接雇用パート) ÷ (正行員 + 嘱託行員 + 契約社員 + 臨時雇 + 派遣・直接雇用パート)

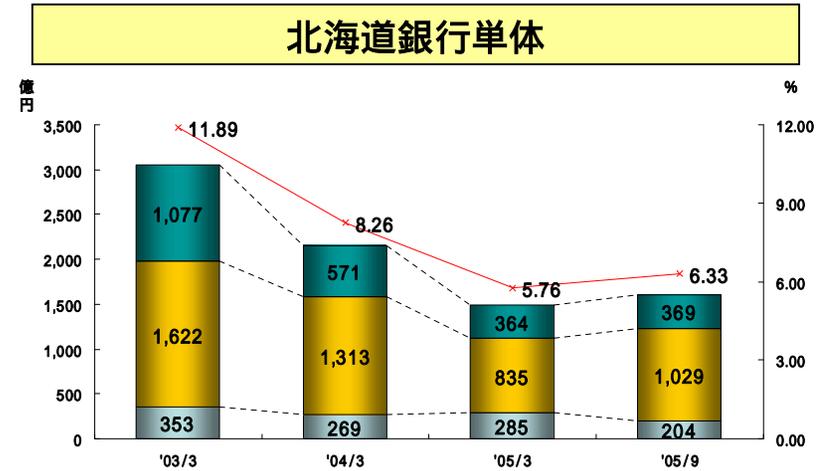
従業員数は経営健全化計画ベース

# 強靱な財務内容の構築に向けて

# 金融再生法開示債権の推移



開示債権比率は、前期末比横這い

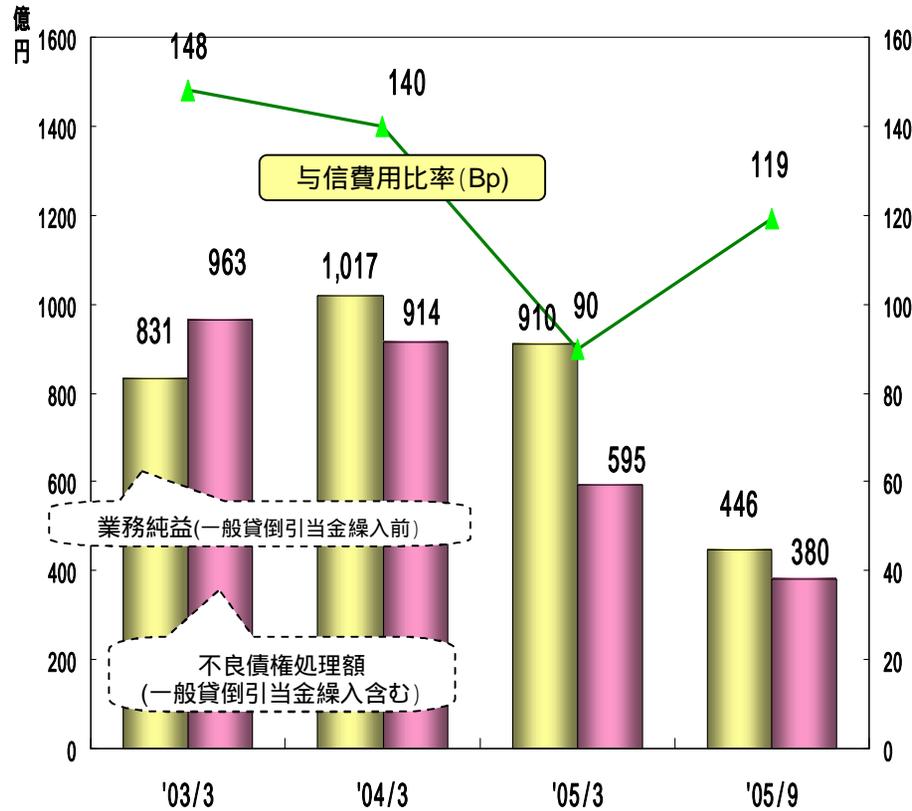


危険債権を中心に査定の厳格化を図った  
開示債権比率は、前期末比 + 0.57%

**08/3期目標：開示債権比率5%台以下**

# 信用コストと業務純益

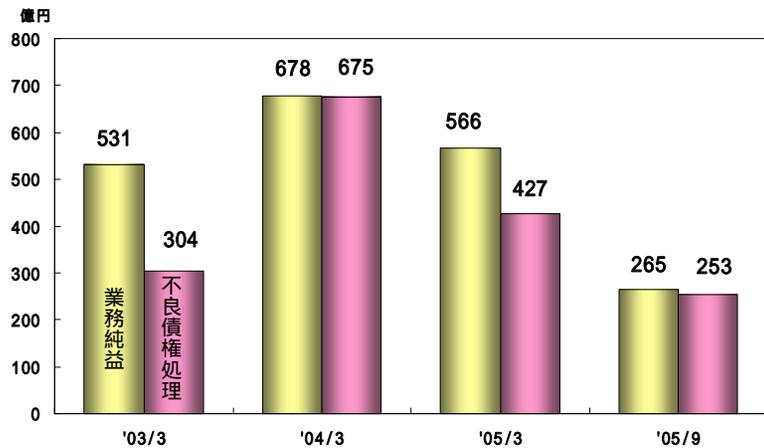
2行合算 (分割子会社含む)



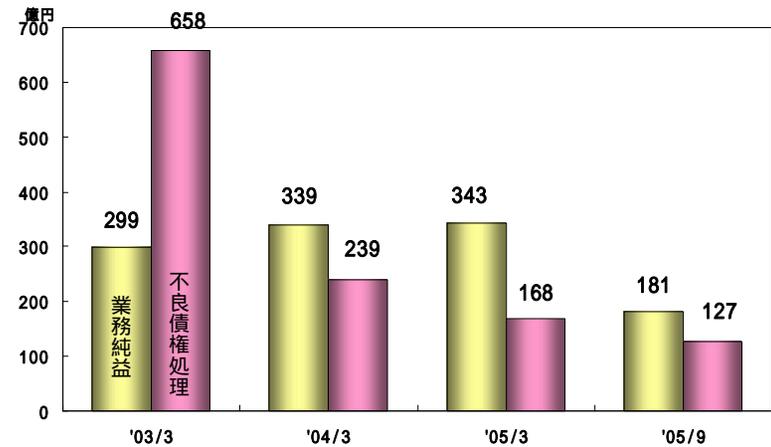
自己査定の厳格化により、与信費用比率は高くなったが、次年度以降は巡航速度になる見通し

与信費用比率 = 不良債権処理額(一般貸倒引当金繰入含む) / 貸出金平残

北陸銀行単体 (分割子会社含む)



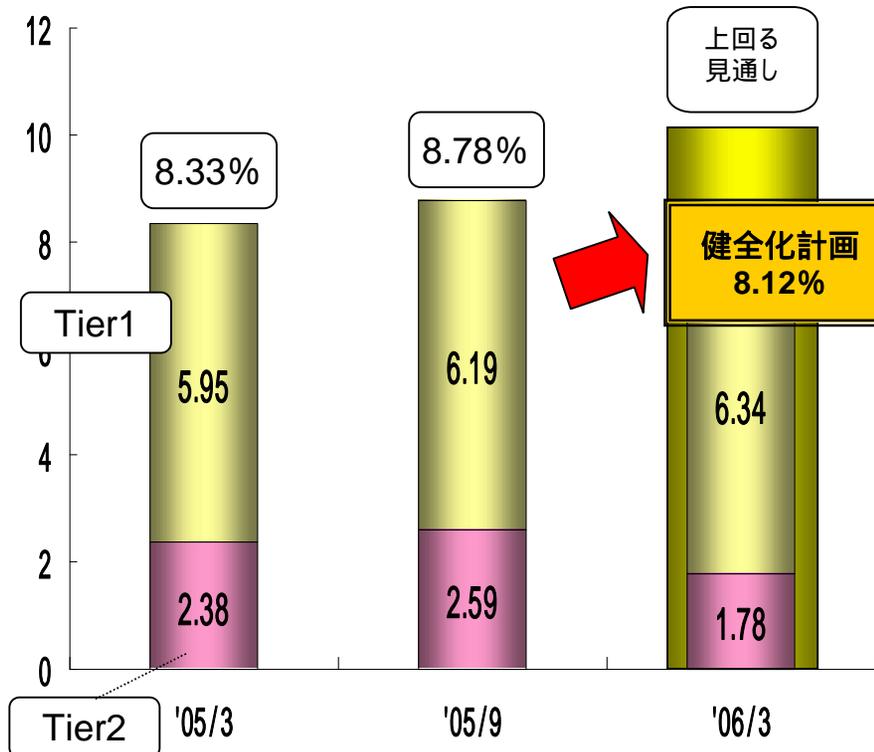
北海道銀行単体



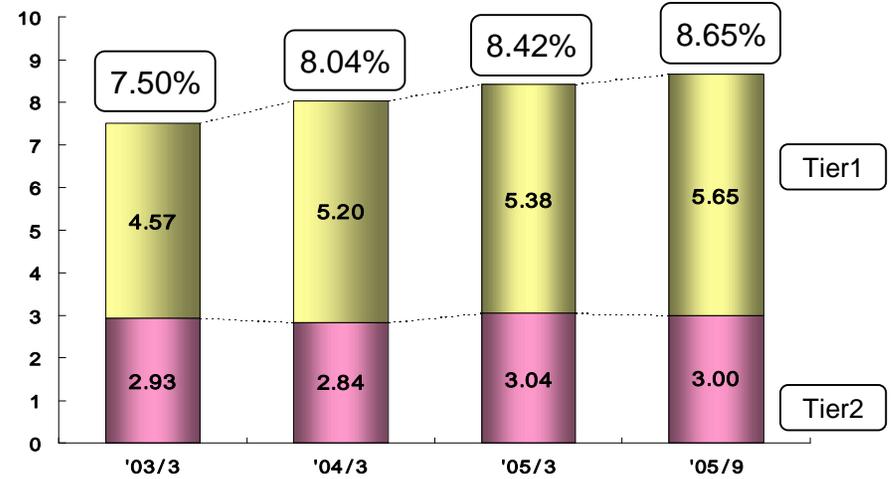
# 自己資本比率の推移

(単位: %)

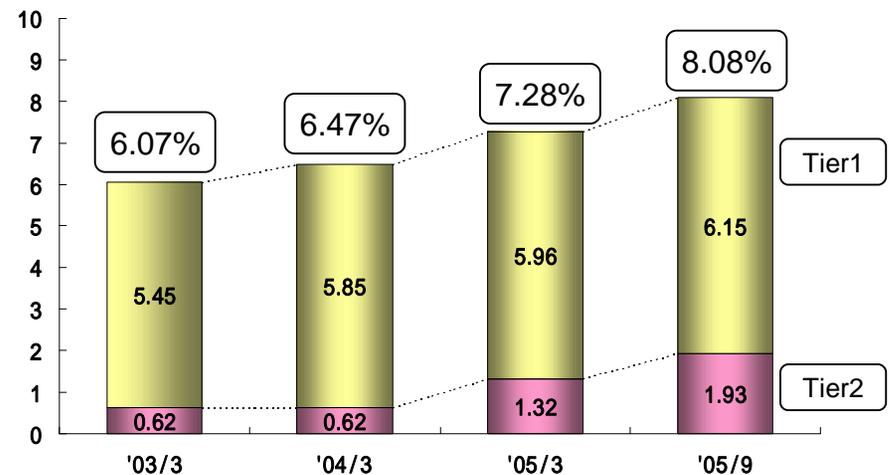
FG連結



北陸銀行単体



北海道銀行単体

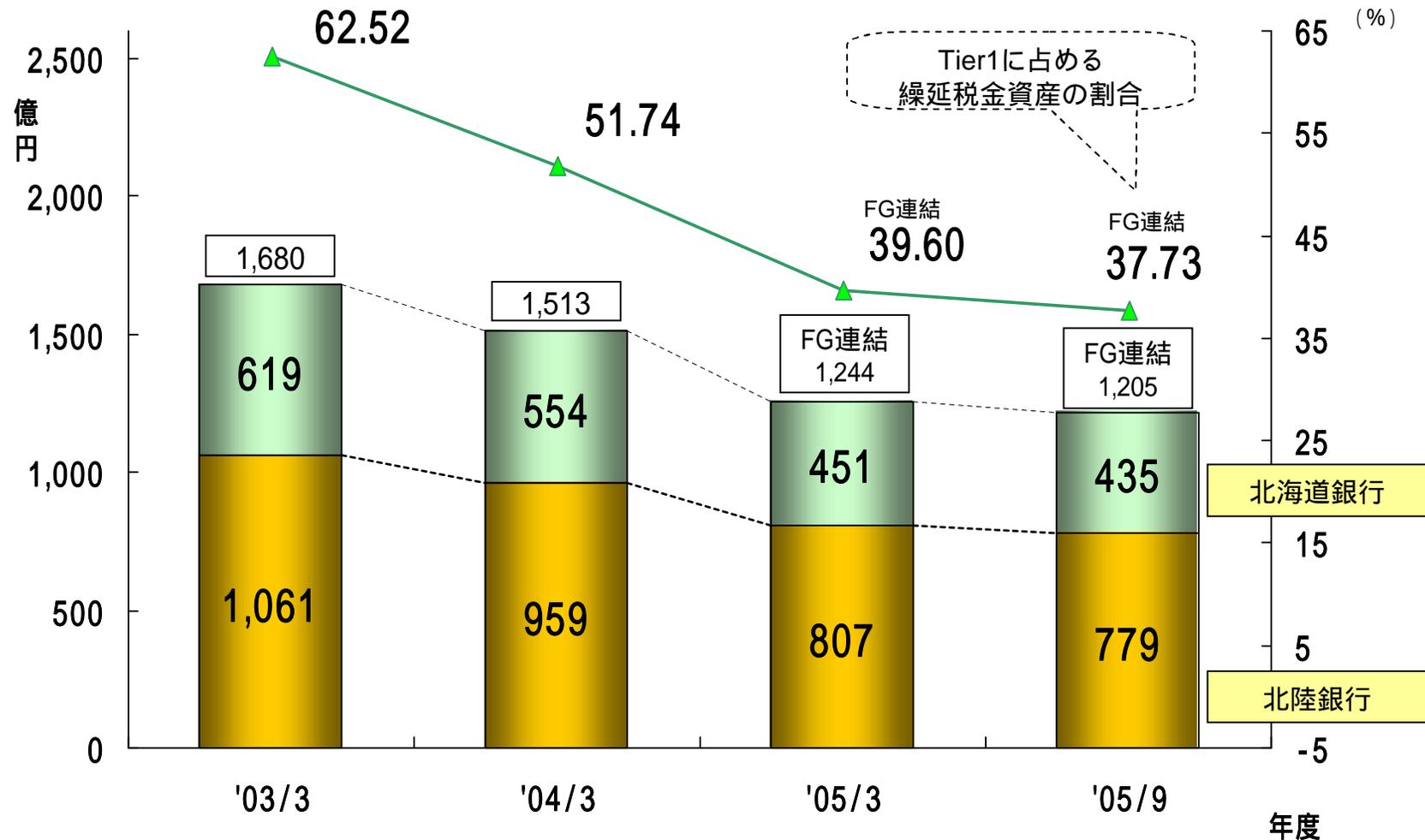


2005年9月 公的劣後ローン100億円返済

- ◆ 2005年3月 第1回劣後債200億円発行
- ◆ 2005年9月 第2回劣後債200億円発行

# 繰延税金資産の推移

- 2008年3月末計画：繰延税金資産Tier1対比20%以下
- 計画に向けて、着実に比率は低下。
- コア業務純益による回収見込年数は北陸銀行3.7年、北海道銀行3.2年と収益力に見合った水準

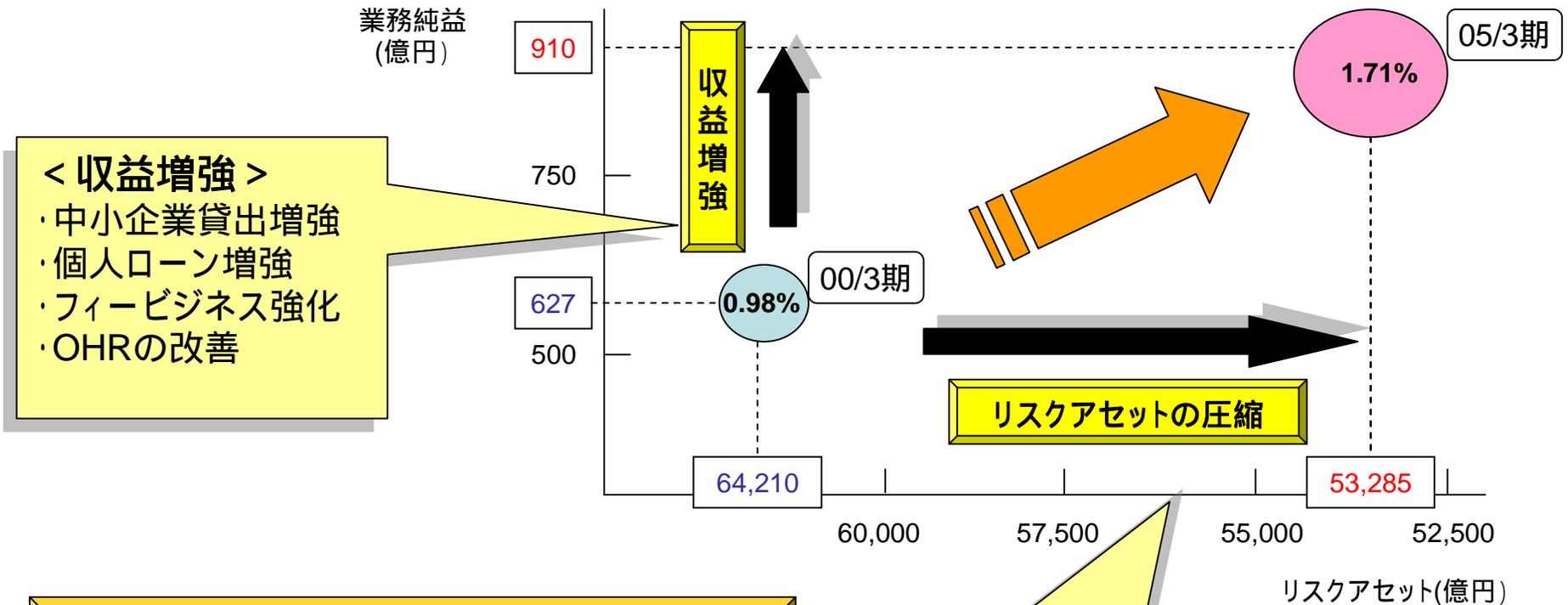


05/3、05/9のトータルの残高および割合は、ほくほくFG連結ベースで記載

# 経営戦略

# リテール強化戦略

リスクアセットと業務純益の対比(推移) 2行合算ベース



**< 収益増強 >**

- ・ 中小企業貸出増強
- ・ 個人ローン増強
- ・ フィービジネス強化
- ・ OHRの改善

リテール強化の一層の推進を図る

**< リスクアセットの圧縮 >**

- ・ 貸出ポートフォリオの入れ替え (低リスクウエイト資産へのシフト 個人ローン・マル保)
- ・ 政策投資株式等の圧縮
- ・ 不良債権処理

リスクアセット対業務純益比率 = 業務純益(一般貸倒引当金繰入前) ÷ ((期末リスクアセット + 前期末リスクアセット) / 2)

# ほくほくFGのシナジー効果

# ～ 店舗統廃合 ～

## 店舗統廃合 (道内拠点)

		'04/3	'05/3	'05/9
北陸銀行	拠点数	22	20	19
	廃止・統合店舗		1 (北見)	1 (網走)
	ローンプラザ化		1 (清田)	
北海道銀行	拠点数	126	125	123
	廃止・統合店舗		1 (輪西)	2 (銀座通) (光星)
	ローンプラザ化			
拠点数合計		148	145	142

### < 計画 > 道内拠点数

'04/3: 148      '08/3: 138

拠点数 = 支店 + 出張所 (店舗内店舗含まず)  
北陸北見・網走 道銀へ統合  
道銀輪西・銀座通・光星 店舗内店舗へ

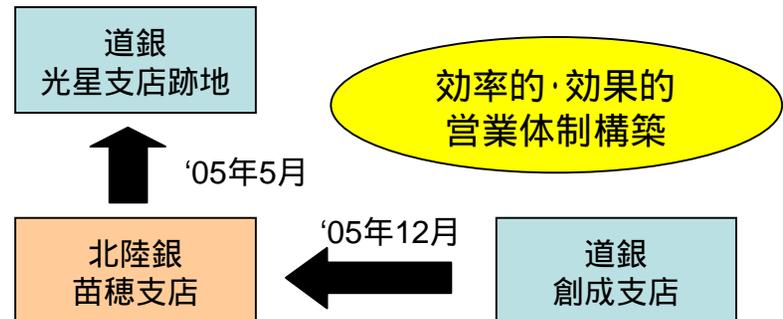
### 統合店舗の年間経費分の削減効果

### 【道外店舗統廃合】

道銀大阪支店 北銀大阪支店へ

## 店舗の効率的再配置

北海道銀行東京支店を北陸銀行東京支店ビル内へ移転 ('05年2月)  
支払賃料削減効果



# ほくほくFGのシナジー効果

# ～ 営業協力 ～

## ビジネスマッチング

### ほくほくFGビジネスフォーラム in 富山

- ・'04年9月：出展81社（うち道銀取引先7社）  
来場者1,200名
- ・'05年9月：出展**86社**（うち道銀取引先7社）  
来場者**2,100名**

中堅都市では、初のビジネスフォーラムの開催

### 北海道ビジネスフォーラム in 札幌

- ・'04年10月：出展70社（うち北陸銀取引先7社）  
来場者1,800名
- ・'05年10月：出展**69社**（うち北陸銀取引先8社）  
来場者**1,200名**

### ビジネスマッチングタスクフォース設置

- ・'04年10月：北陸・北海道・東京に担当者配置  
情報提供力の強化
- ・'04年度紹介件数：  
北陸銀 道銀：38件、道銀 北陸銀：18件

## 中国ビジネス支援

地銀初

上海で地銀5行合同ビジネスフォーラム  
開催予定(05/12月)

北海道銀行瀋陽駐在員事務所  
開設予定(06/2月)

北陸銀行から人員派遣予定

### 中国進出企業の組織化・情報提供

- ・「ほくりく長城会」・・・会員数**489社**(05/9末)
- ・「ほっかいどう長城会」・・・会員数**211社**(05/9末)
- ・「上海長城会」・・・会員数**109社**(05/9末)

- ・北陸銀行上海駐在員事務所では北海道庁から  
人員（道銀へ出向）受入（05/7月～）

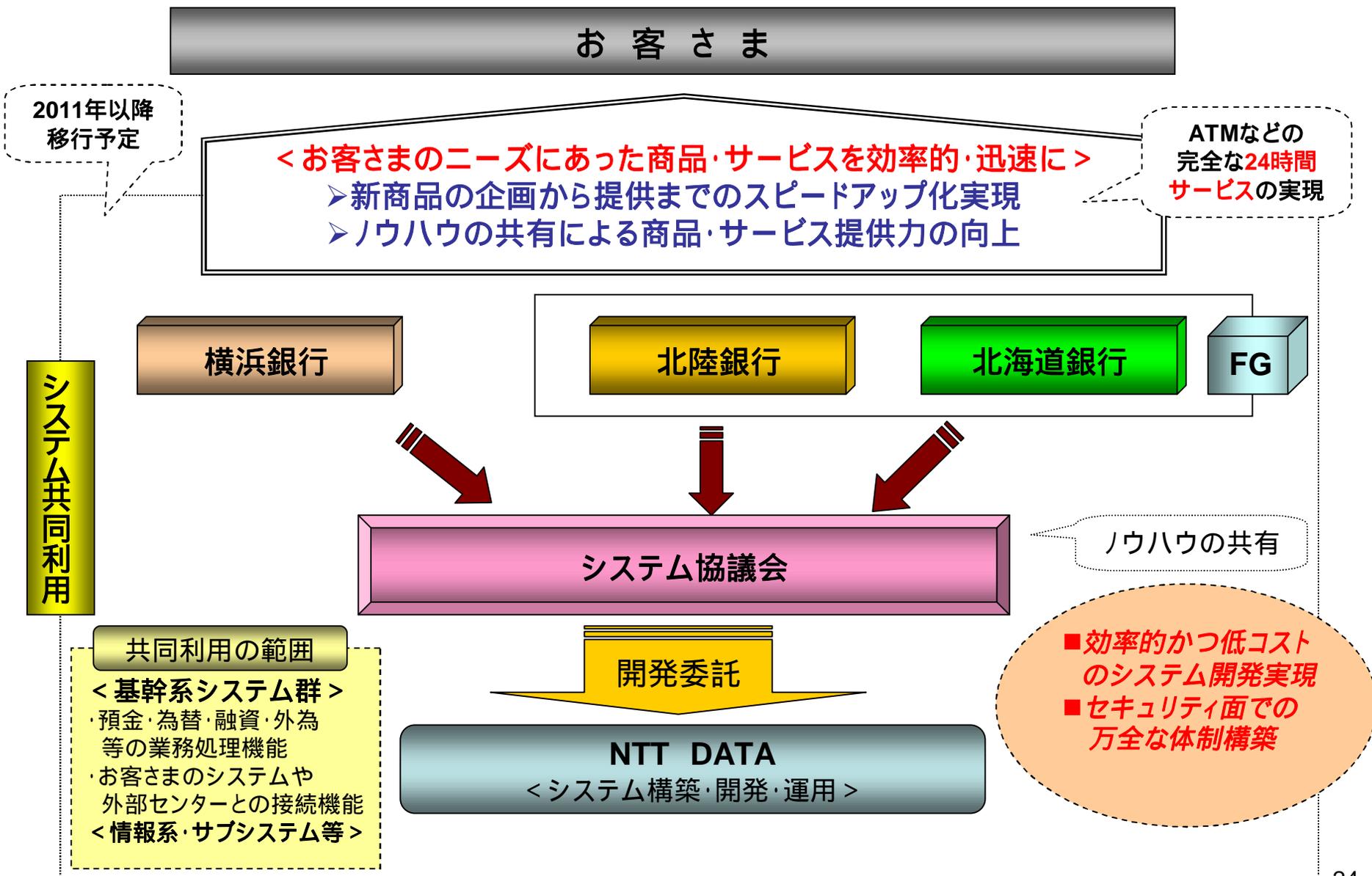
### 【東・東南アジア拠点網】

- 北陸・・・上海、大連、シンガポール
- 北海道・・・瀋陽、北京、サハリン

- ・大連市と経済交流協定締結
- ・上海市と経済交流協定締結(予定)

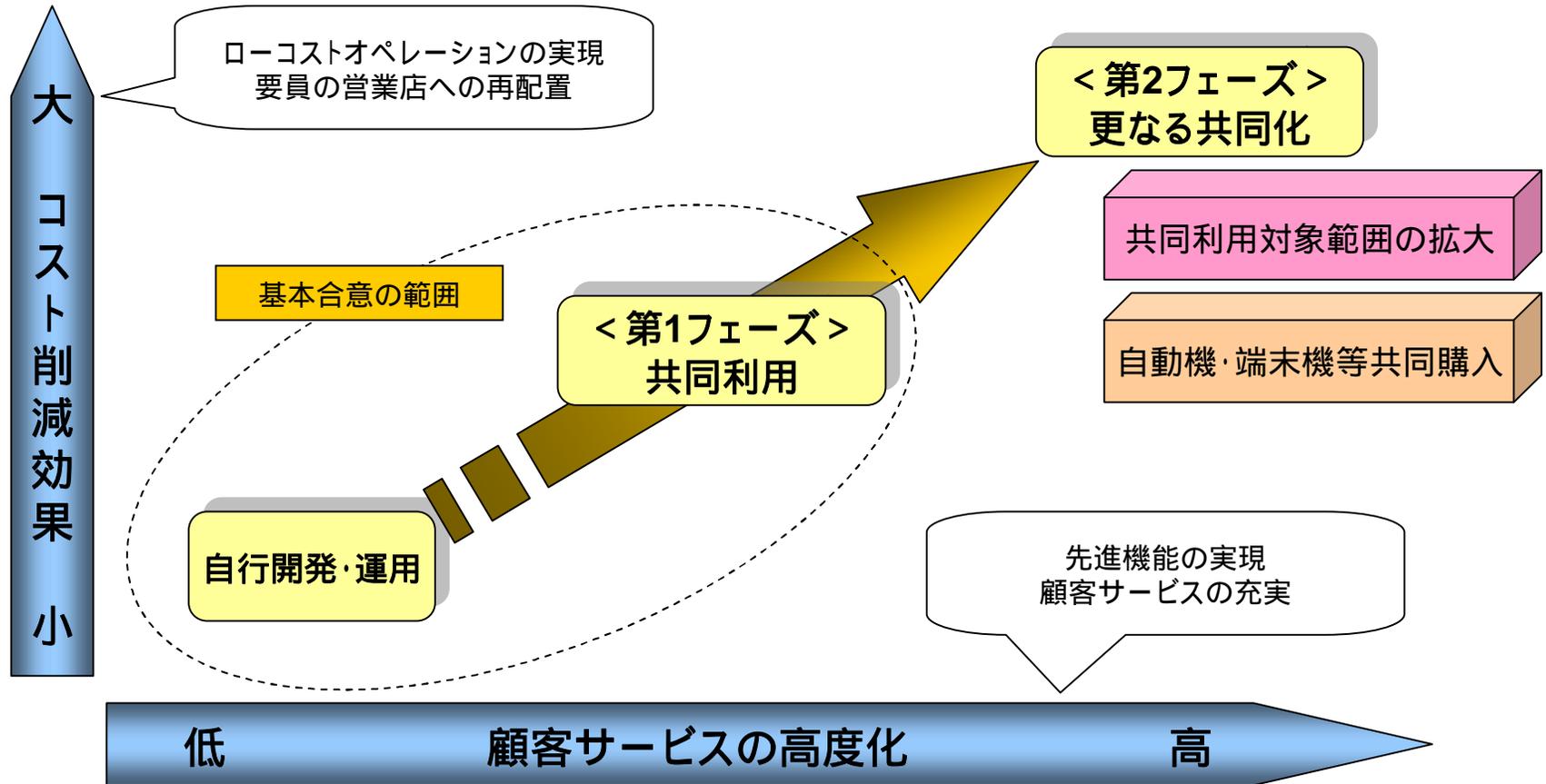
# ほくほくFGのシナジー効果

## ～システム共同利用～



# ほくほくFGのシナジー効果

～システム共同利用～



## 【顧客サービスの充実】

- ・商品設計の自由化・リードタイムの短縮
- ・24時間365日オンライン取引の実現
- ・顧客情報管理の高度化

## 【コストミニマム化】

- ・独自開発・運用に比べ、大幅なコスト削減
- ・開発要員等の効率的再配置

本件に係る照会先

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ  
企画グループ(担当:武波)  
TEL: 076 - 423 - 7331  
FAX: 076 - 423 - 9545  
E-MAIL: [honsha2@hokuhoku-fg.co.jp](mailto:honsha2@hokuhoku-fg.co.jp)  
<http://www.hokuhoku-fg.co.jp>

事前に株式会社ほくほくフィナンシャルグループの許可を書面で得ることなく、本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止いたします。本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境等の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。